届出番号:13B2X10356000066

一般医療機器

機械器具 01 手術台及び治療台 手術台アクセサリー (JMDN コード: 70469000)

アレン スパイナルシステム

再使用禁止

【禁忌·禁止】

- (1) ディスポカバー、ディスポパッド、クリーンケープは再使用 禁止。
- (2) 材質に過敏症がある患者には使用しないこと。
- (3) 当社指定の構成品以外の組合せで使用しないこと[相 互作用の項参照]。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状、構造 本品は次の製品で構成される。

代表的外観写真



2. 原理

手術の際、手術台に取り付けた本体で患者の体位を固定 し、位置を保持する。

【使用目的又は効果】

手術台に付属するアクセサリーである。

【使用方法】

1. 使用方法

各構成品は使用前に、必要に応じて消毒剤で清拭する。

スパイナルシステム

- (1) 構成品をフレックスフレームに取り付けた後、手術台に取り 付け、パッドを載せる。
- (2) 患者を伏臥位にして乗せ、位置や角度を調整する。

ボウフレーム

- (1) 本品を手術台等に取り付け固定する。
- (2) 患者に合わせパッドの幅を調整する。
- (3) 患者を乗せた後、パッドの高さを調整する。

4ポスト

- (1) 本品を手術台等に取り付け固定する。
- (2) 患者に合わせパッド位置を調整し固定する。
- (3) 患者を適切な体位、位置に固定する。

0 フレックス

- (1) 本品をフレックスフレームに取り付け固定する。
- (2) 患者の頭部を適切な位置に固定する。

AP バンテージ

- (1) AP バンテージ フレームを手術台に取り付ける。
- (2) 必要に応じて AP バンテージ レッグ又は AP バンテージ トラクションバーを取り付け固定する。
- 2. 使用方法に関連する使用上の注意
- (1) 本品を固定する手術台のサイドレール又は手術台アクセ サリーのレール幅及び厚みに適正な手術台用クランプを 選択すること。
- (2) 患者の身体に負荷をかけるような動作をしないこと。
- (3) C フレックス クリーンケープは C フレックスヘッドポジショナ 一の動きを妨げないように装着すること。

【使用上の注意】

- 1. 重要な基本的注意
- (1) 使用する手術台が、患者体重及び本品の重量に対して 適切な耐荷重を有していること。
- (2) 適用患者体重を遵守すること「機器の破損や患者の脱落 を起こすおそれがあるため]。
- (3) C フレックスヘッドポジショナーのアームの位置を調整する 際は、患者の頭部を確実に支えながら行うこと「支えが不 十分な場合、患者に重大な損傷をもたらすおそれがある]。
- (4) 患者に無理な姿勢を取らせたり、無理な力が掛からない ように装着すること。
- (5) 各構成品のサイドレール又は手術台アクセサリーレールへ の固定及び取り付けは確実に行うこと。

使用前に取扱説明書をご参照下さい

2. 相互作用

併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の 名称等	臨床症状·措置方法	機序·危険因子
当社指定の 構成品以外 の他社製品	機器に重要な損傷を 与え、患者又は使用 者に重篤な障害ある いは死亡をもたらす危 険性がある。	本品との併用に 関する安全性 が確認されていない。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

高温、多温を避け、清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管すること。

- 2. 有効期間[自己認証(当社データ)による] パッド:3年
- 耐用期間[自己認証(当社データ)による] パッド:3年 パッド以外:5年 ※ただし、ディスポーザブル製品を除く

【保守・点検に係る事項】

- 1. 清掃
 - (1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに清拭・消毒する。
 - (2) パッドは漂白剤及びフェノール類を含む消毒剤で清拭しないこと。
 - (3) スプレータイプの洗浄剤、消毒剤を用いる場合は、直接吹きかけないこと [錆の原因になるため]。
 - (4) 各構成品(パッドを含む)は浸漬しないこと。
 - (5) 各構成品は滅菌しないこと。

2. 保守·点検

- (1) 使用前に汚れ・破損・可動部の動き等を点検する。
- (2) 点検後異常があった場合は、誤って使用されないように 「使用禁止」等の表示をして購入店又は弊社担当者へ 連絡する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

ヒルロムジャパン株式会社

製造業者:

ヒルロム社 メキシコ

Hill-Rom De Mexico S de RL de CV